

## 令和4年度第3回江別市スポーツ推進審議会開催結果

### 1. 開催日時

令和5年2月20日(月)午後14時30分～午後15時00分  
江別市教育庁舎大会議室

### 2. 出席者

・スポーツ推進審議会委員:10名

金内晴夫会長、花井篤子副会長、古川孝行委員、小林照美委員、信定学委員、柴田宏樹委員、竹内由紀子委員、石崎朋子委員、小川泰雅委員、五十嵐拓也委員  
(欠席:奥村翔委員)

・教育委員会事務局:4名

伊藤教育部長、堀井スポーツ課長、井上スポーツ係長、今井スポーツ課主査

### 3. 開催結果

#### (1)開 会

委員の過半数の出席を確認し、スポーツ課長が開会を宣言。

#### (2)あいさつ

教育部長・金内会長からあいさつ

#### (3)第7期江別市スポーツ推進計画の策定に係る諮問

教育部長から金内会長に諮問書を交付

#### (4)審議事項

第7期江別市スポーツ推進計画における施策体系(案)について

・スポーツ係主査(スポーツ交流事業担当)から、資料に基づき説明した。

### ○事務局(スポーツ係主査)

審議事項(1)第7期江別市スポーツ推進計画における施策体系(案)について、説明する。

資料1ページをご覧願う。

はじめに、第7期施策体系案作成にあたっての基本的な考え方について、説明する。

1 「国」や「北海道」の動向について、令和4年3月に策定された国の「第3期スポーツ基本計画」と令和5年度中に策定予定である道の「第3期北海道スポーツ推進計画」の動向にも注視しながら策定するものとする。

2 「第7次江別市総合計画」との整合性について、第7次江別市総合計画のまちづくり分野07「生涯学習・文化・スポーツ」の基本方針03「市民スポーツ活動の充実」との整合を図り、その個別計画としてより具体的な基本方向と施策項目を設定し、策定するものとする。

3 関連計画等の整合性について、江別市教育大綱、江別市学校教育基本計画、江別市社会教育総合計画等の関連計画との整合性を図りながら策定するものとする。

資料2ページをご覧ください。

続いて、国のスポーツ基本計画について、説明する。

この資料は、令和4年3月に施行され、令和4年度からスタートしている国の第3期スポーツ基本計画の概要をまとめた簡易版の資料となる。

第2期計画期間中の、新型コロナウイルス感染症、東京オリンピック・パラリンピック、その他社会状況の変化等を通じて、「スポーツそのものが有する価値」や「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」を更に高めるべく、次に掲げる施策を展開していくとしている。

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策では、従前の方法に加え、新たな考え方・視点・手法を取り入れ、様々な関係者との連携・協力の下、共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進などの大きく分けて6つの施策を特に重点的に取り組むこととしている。

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策では、社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれず柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出し、スポーツを「つくる／はぐくむ」。

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」。

性別や年齢、障がい、経済・地域事情の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成する、スポーツに「誰もがアクセスできる」。

以上、3つの「新たな視点」ごとに重点施策に取り組むこととしている。

資料3ページをご覧ください。

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策である。

「スポーツ界におけるDXの推進」、「スポーツによる健康増進」など12

項目を今後5年間に総合的かつ計画的に取り組んでいく。

これらの施策を展開し、全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指し、「感動していただけるスポーツ界」の実現に向けた目標設定を行っている。

国のスポーツ基本計画の推移については、資料4～5ページに記載しているので、後ほどご覧ください。

資料6ページをご覧ください。

続いて、道のスポーツ推進計画について、説明する。

第3期北海道スポーツ推進計画は、令和5年度から開始を予定しており、現在策定作業を行っている。この資料は、計画素案の概要をまとめた資料となる。

めざす姿として、北海道の潜在力やスポーツの持つ力を活用し、将来にわたる持続可能な社会の実現を掲げている。

資料7ページをご覧ください。

今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策として、1. スポーツ参画人口の拡大とライフステージに応じたスポーツのあるくらしの充実、2. 北海道ならではの特色を生かしたスポーツによる地域活性化と共生社会の実現、3. どさんこ選手の国際競技力の維持・向上、4. スポーツの安全・安心の確保とささえる環境づくり、5. オリパラ競技大会のスポーツ・レガシーの継承・発展、以上5つの施策に取り組む予定となっている。

道のスポーツ推進計画の推移については、資料8～9ページに記載しているので、後ほどご覧ください。

続いて、別添のA3の資料1ページをご覧ください。

はじめに、現計画である第6期と新計画である第7期の施策体系案を比較する。

第7期の基本理念、基本目標、基本方向について、説明する。赤字が主な変更点となる。

基本理念は、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツを  
～スポーツで未来へつながる「健康都市えべつ」～」

とした。

第3期北海道スポーツ推進計画を参酌し、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」、「しる」が相互につながることで、スポーツの持つ力を最大限に活用し、将来にわたる持続可能な共生社会を目指し、未来へつなげていく。総合計画と同様にSDGsを意識した基本理念としている。

「基本目標Ⅰ 生涯スポーツの推進」では、各個人が生涯にわたって、スポーツに親しめる機会を提供することで、心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにする。

「基本方向1 生涯、だれもがスポーツを楽しむための「する」機会の提供と充実」では、生涯各期のみならず、障がい者のスポーツや女性のスポーツなど多様な主体がだれでもスポーツを楽しむために「する」スポーツの機会を提供・充実させる。

「基本方向2 スポーツを始めるきっかけづくり スポーツを「みる」「しる」機会の提供」では、スポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツイベントの開催やDX等を活用した情報発信、トップアスリートとの交流などを通じて、スポーツを「みる」「しる」機会を提供する。

「基本方向3 スポーツによる健康づくりの推進」では、えべつ市民健康づくりプラン21等と連携し、スポーツによる健康づくりの機会を提供し、「健康都市えべつ」の発展に寄与する。

「基本目標Ⅱ 地域スポーツ活動の推進」では、地域やスポーツ関連団体との連携により、市民が行うスポーツ活動の活性化や地域スポーツの競技力向上を図る。

「基本方向1 地域で「ささえる」スポーツ活動の推進」では、地域スポーツをささえる指導者やスポーツボランティアの育成を図るほか、総合型地域スポーツクラブや国が進める部活動の地域移行を支援し、地域スポーツ活動の活性化を図る。

「基本方向2 競技スポーツの推進」では、地域スポーツの競技力向上を目的として、統括団体・学校・スポーツ関係機関・民間企業と連携・協力するほか、成績優秀者等への支援を行う。

「基本目標Ⅲ スポーツ施設の整備・充実」では、市民が気軽にスポーツを行う場を提供するため、各種スポーツ施設の計画的な整備と充実を図るとともに、その施設の適切な管理運営に努める。

第6期では、施設などのハードの部分と団体や人のつながりなどのソフトの部分の合わせ、「スポーツ環境」と表現していたが、第7期では、ソフトは、基

本目標Ⅱ 地域スポーツ活動の推進に含まれると考え、ハードのみの「施設」に変更している。

「基本方向1 スポーツ施設の計画的な整備と充実」では、江別市スポーツ施設長寿命化計画及び江別市公園施設長寿命化計画に基づき、各種体育施設の計画的な補修及び改修を進め、市民の活動要求に応える。

「基本方向2 スポーツ施設の適正な管理運営」では、指定管理者と連携し、市民が利用しやすい施設運営と適切な管理に努める。

別添資料2ページをご覧ください。

こちらの資料は、施策項目の主な変更理由を記載している。

新たな施策項目としては、国が進める部活動の地域移行への支援やDX等を活用した情報発信などを追加している。

以上が、第7期江別市スポーツ推進計画施策体系事務局案の説明であり、ご審議を願いたい。

(質疑等)

#### ○花井委員

計画の内容は大まかに理解できた。

生涯スポーツの推進は、だれもがスポーツを楽しむための「する」機会の提供と充実ということになっているが、提供の方法というところで、対面が前提とは考えるが、北海道の地域特性を考慮すると、「いつでも、どこでも、だれでも」の実現のためには、遠隔等による情報の提供などの方法も加味していくことで、生涯スポーツの推進に繋がっていくと思う。

#### ○事務局(スポーツ係主査)

国のスポーツ基本計画でも、DXを活用して、対面以外でもスポーツへの機会を増やすことが示されており、市でもそのような機会を提供していくことを考えたい。

#### ○金内会長

よろしいか。他に質問は。

#### ○小林委員

総合型地域地域スポーツクラブへの支援とあるが、大麻のクラブがあるのは

認識しているが、他に江別市の総合型のクラブというのは増えているのか。

### ○事務局(スポーツ課長)

現在、市で把握しているスポーツクラブは3団体あり、文京台にあるわくわくピース、ダンススクールであるリズムネイション、あとは体操を教えている北翔大学のスポルクラブである。

市が現在行っている支援としては広報などで周知を行い、会員の確保などに結び付けている状況である。

## (5)報告事項

### (1)令和4年度青少年スポーツ賞・スポーツ奨励賞・教育委員会賞について ・スポーツ係長から、資料に基づき報告した。

報告事項(1) 令和4年度江別市青少年スポーツ賞、スポーツ奨励賞、及び教育委員会表彰について報告する。

これらの賞は、スポーツ大会において優秀な成績を収めた青少年を表彰するものである。

資料10ページをお開き願う。

各賞の選考の基準等を掲載している。スポーツ賞は、全国大会で3位以内、通算2年以上の入賞、全国記録の更新となっており、スポーツ奨励賞は、全道規模の大会で優勝、全道記録の更新、教育委員会賞は、全道規模の大会等で2位又は3位という基準となっている。

11ページをご覧ください。今年度、スポーツ賞は、2個人、1団体の計3件、スポーツ奨励賞は、6個人、13団体の計19件となった。

13ページをご覧ください。教育委員会賞は、13個人、11団体の計27件となり、本年度、各賞を合わせた受賞数は、個人21件、団体25件の計46件となった。

なお、本年度の贈呈式は、2月25日(土)に、えぼあホールで開催し、市長並びに教育長から各賞の贈呈を行う。来賓として当審議会の金内会長にもご臨席いただく予定となっている。

(質疑等 → なし)

## 報告事項(2)令和5年度スポーツ関係予算について

・スポーツ係長から、資料に基づき報告した。

### ○事務局(スポーツ係長)

報告事項(2) 令和5年度スポーツ関係予算について、報告する。

資料15ページをご覧ください。

令和5年度のスポーツ関係予算について、主だったところの予算を掲載している。前年度と変更のある事業や予算の増減が大きい事業について、説明する。

上から5番目の「市民体育館改修整備事業」では、今年度に屋上の防水工事を行ったが、来年度は施設全体の給水設備改修工事と、柔剣道室の床の改修工事を行う予定である。

9番目の「あけぼのパークゴルフ場管理運営事業」は、パークゴルフ場の指定管理料ですが、約260万円増加している。これは、今年度増設工事を行った関係で、コース数や敷地面積が増え、その分管理経費が増加することによるものである。

次の「スポーツ合宿誘致推進事業」は、政策的な要素がある事業であり、4月の市長選後の6月に改めて予算の検討をすることにしており、6月までの経費が今回計上されている。

最後の「高校総体北海道大会開催事業」は令和5年度全国高校総体における江別市開催競技の準備と大会運営に係る経費となる。

これらの予算については、3月定例会市議会の議決を経て、新年度予算として措置されるものである。

(質疑等 → なし)

### (5)その他

#### ○事務局(スポーツ係長):

今回の江別市スポーツ推進審議会だが、新年度の8月頃の開催を予定しており、次年度も3回の開催を予定している。

また、現在の委員の皆様は任期が令和5年5月31日までであり、来年度は

改選年となる。4月下旬に各所属へ推薦依頼をお送りする。

○議長(金内会長):

以上をもって、令和4年度第3回江別市スポーツ推進審議会を閉会する。

(6)閉 会(午後15時00分終了)